

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出支援	利用者の重度化が進み、日常的な外出支援が困難な場合が多いため、利用者全員が戸外の行きたいところへ出かけている訳ではない。利用者の体調や希望を考慮し喜びに繋がるような外出支援を検討していきたい。	①外出が困難な場合は、自然と触れ合えるように支援する。 ②利用者の安全を考慮し、無理のないようにボランティアや家族と協力し支援する。 ③外出一覧表を作成し、利用者全員が外出できるように支援する。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた支援	利用者が重度化していく中、介護サービスの質を維持しながら重度化や終末期に対応できるようなチーム作りを目指す。	①職員ひとり一人の介護技術の向上のために施設内外の研修会に全職員が参加。 ②利用者や家族との信頼関係は重要なので利用者の状況に応じて話し合いを行い信頼関係を深めていく。 ③終末期対応マニュアルの再確認及び見直し ④重度化及び看取りに関する指針の内容を職員間で共有する。	12ヶ月
3	35	災害対策	夜間を想定した訓練は、実施しているので、利用者の生活に影響のない時間帯を選んで取り組んでいく。	安全に避難誘導できるように急連絡網の再確認、勉強会やシュミレーションを重ね消防署、地域、家族に協力してもらえるように支援体制の整備を行う。	12ヶ月
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。